



NPO法人
信州ふるさとづくり
応援団

パートナー通信安曇野 第13号

2010.12.20

発行：NPO法人信州ふるさとづくり応援団安曇野支部
安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内
TEL：0263-81-1325

URL：<http://npo-furusato.way-nifty.com/azumino>

編集：木船



みみより情報① 2011年特製カレンダー

「安曇野賛歌 My Favorite AZUMINO」

はいかがですか。

今年も当「応援団」安曇野支部理事・鈴木研一さんの手によるカレンダーができました。今回はすべて安曇野市内で撮った写真を使っており、市内在住者にとっては自分と身近な風景があるかがこれまで以上に気になるところ。他の市民グループ（「安曇野ブランドデザイン会議」）での「安曇野のビューポイント発掘活動」にも参加しつつ撮りためた作品の中からの厳選。都市部に住む知人友人などへのプレゼントにもってこいの逸品です。製作部数も少なく超レア。一部1,500円。お買い求めはお早めどうぞ。詳細は別紙案内をご覧ください。（木船）

【鈴木研一氏プロフィール】1943年、茨城県生まれ。信大文理学部から東大大学院経済学研究科博士課程を経て翻訳業へ。4年前に念願の安曇野移住を果たし、なんと自動車免許も移住後に取得したというつわもの。現在は翻訳業のかたわら難解な経済書の読書会なども主催し、終わらぬ青春時代を駆け抜けている。主著「破産した現代“社会主義”」、他共著翻訳多数。拾ヶ堰をモチーフにした映画「安曇野・水物語」のスタイル写真担当。

番外情報

12月25日「ゆくりりつく」コンサート（於；松本市民芸術館ホール・主ホール、13:00開場）にて、鈴木さんの写真約40点が背景に映ります。

みみより情報② 「100万人のキャンドルナイトin安曇野」に来てみませんか。

電気を消してろうそくの光で過ごす「100万人のキャンドルナイトin安曇野」が12月22日、安曇野市豊科南穂高の田淵行男記念館で開かれます。主催は「in安曇野」実行委員会で、当「応援団」も参加協力します。

「キャンドルナイト」とは、忙しない日常からたまには外れて、スローで静かな夜を過ごそうというもの。わずか2時間の催しですが、全国一斉に行われます。ろうそくの灯に包まれながら、電気のありがたさや環境、または平和の尊さなどに思いを巡らせてみるのはいかがでしょう。（木船）

【場所】田淵行男記念館東側のワサビ田

【時間】16:30(点灯開始)～19:00

事前の申し込みは不要です。お問い合わせは実行委員長・細萱由紀子さん(☎090-7736-0815)まで。



↑ 昨年のキャンドルナイトin安曇野の様子。

報告①「第10回ふるさとウォッチング in安曇野」を開催しました。

去る11月21日(日)、安曇野の魅力を再発見するウォーキングイベント「第10回ふるさとウォッチング in安曇野」を、豊科・熊倉地区にて開催しました。市内外から70名以上の方が参加くださいました。

当日朝は霜がおり、おそらく安曇野のほぼ全域が霧の中という状況でのスタートでしたが、1時間ほどのうちには快晴に。

今回は、「熊倉歴史文化研究委員会(以下、委員会)」という地域住民十数名で作るグループの方たちの解説を受けながらのウォッチングでした。この「委員会」、「熊倉の歴史」という図書を発行したり、地区内の史跡地22か所に由来碑を建てると、非常に活発な取り組みをされています。60～80代という年齢層をとっても感じさせないこの熱いおやじ達と出会えたことも、今回の大きな発見だったと、スタッフとしては感じています。

開放的で広々とした田園と古民家が折りなす素朴な農村風景は、熊倉には特に色濃く残っており、心の洗濯ができた一日だったのではないのでしょうか。(木船)

報告②「第3回田舎暮らしセミナー」を大阪にて開催しました。

去る11月27日(土)、大阪市内にて「田舎暮らしセミナー」を開催しました。今回も安曇野市ブランド推進室・横澤、商工労政課・降旗両係長に同行いただき、市のブランド化への取り組みや就労状況についても説明していただきました。

来場者は8名と多くはありませんでしたが、みなさんとても熱心に耳を傾けていたようです。特に当「応援団」会員の高松伸幸さんのIターン体験談には、「私の安曇野に行きたい思いと、概に住んできている人の体験談と同じであり、意を強くした。」とか、「体験談をよく理解でき、説得力もあった。」などの感想が寄せられており、一定の参考にしていただけたのではないかと感じます。また、「イメージだけで移住を考えるのは甘いと、よくわかりました。」という感想もいただき、少し強く響きすぎたのかと心配しないでもありません。

一方もっと知りたい事がらとして、「松本を含む就職情報」「生活費や交通の便」「賃貸の相場」などが挙げられました。

途中滋賀県の近江八幡市に立ち寄り、400年以上前に豊臣秀次が山城の堀として掘らせた八幡堀と、その保存に取り組んできた方々のお話を伺ってきました。40年に渡るその取り組みの労力、執念たるや大変なもので、市民による地域づくりの草分けの存在に、やにやらとても勇気づけられたのでした。



写真 (上)開会の様子。黄色のキャップをかぶっているのは、「熊倉歴史文化研究委員会」の方々。



(下)仏法寺の説明を受けている様子。



(上)「熊倉の渡し」の説明を受けている様子。



(上)セミナーの様子。(下)夜の大阪ウォッチング。
“インフルエンザ予防”にアルコールでノドを消毒。

